



ADP Global Payroll

PTC お客様導入事例

概要

企業名： PTC

本社所在地： 米国
マサチューセッツ州
ボストン

業種： ソフトウェア

従業員数： 約7,000名

展開国： 30か国

PTCは、世界中の産業および製造業の企業が、物理的な製品の設計、製造、サービスの方法をデジタルで革新することを支援するグローバルなソフトウェア企業です。7,000人のグローバルな従業員を擁し、30,000以上のクライアントにサービスを提供するPTCは、ADP®と共に、20社以上のベンダーを統合し、ADPの最先端ソリューションを活用した効率的なグローバル給与システムの構築という大きな挑戦に取り組んでいます。

目標

- ベンダーの統合と共通のグローバル給与ソリューションの構築
- データのSSOT（信頼できる唯一の情報源）への移行
- コンプライアンス基準の強化

統合の必要性

PTCでは、グローバルな給与システムの変革に着手する以前、28社ものベンダーと30の給与システムを管理しなければならぬという大きな課題に直面していました。給与管理の責任は人事部門と経理部門に分かれており、そこには標準化が欠如していました。これを解決するために、PTCはADPと共に、給与機能の集中化、プロセスの効率化、そして従業員データの一貫性の確保を目指しました。統合を完了させることで、PTCは従業員へのサービス向上、意思決定に役立つより正確なデータの提供、そして効率的かつ迅速なグローバル給与システムの拡大を実現できるからです。

PTCのコーポレートバイスプレジデント兼コントローラーであるAlice Christenson氏は次のように述べています。「私たちのグローバルトランスフォーメーションの基盤は、人事および給与データを一つの共通インフラに集約し、単一の信頼できる情報源を確立することにありました。ADPと提携し、HCMデータと組み合わせることで、従業員関連情報に関する共通のデータソースと真実を活用しています。今後、この変革によりスケールアップが可能となり、事業の成長に伴い、より良い従業員体験と意思決定に役立つ優れたデータの提供を目指しています。」

現地の専門知識で確実なローカルコンプライアンス

PTCは、導入の過程で、給与データの入力、出力、総勘定元帳のレポートイングの標準化に、給与に関するグローバルリストが必要なことに気づきました。戦略的にこれに取り組むことで、各国での導入がよりスムーズかつ効率的に開始されることが保証されました。

「私たちのグローバルトランスフォーメーションの基盤は、人事および給与データを一つの共通インフラに集約し、単一の信頼できる情報源を確立することにありました。」

—PTC社、コーポレートバイスプレジデント兼コントローラー、Alice Christenson氏

グローバル給与担当シニアマネージャー兼トランスフォーメーションプロジェクトリーダーのStephanie Buccieri氏は次のように述べています。「ADPグローバル給与導入前は、すべての給与処理をExcelのスプレッドシートで行っていました。」

「人事システムの記録を強化するために、ADPグローバル給与とのシームレスな連携を実現するよう最適化しました。導入の際には、ADPの現地パートナーからの指導を仰ぎ、給与処理が正確に設定され、現地の法令に準拠していることに自信を持つことができました。」

グローバル会計およびソース・トゥ・ペイ担当シニアバイスプレジデントのSamantha Shullo氏は次のように付け加えます。「このプロセスにより、標準化と効率化のさらなる機会が明らかになりました。コンプライアンスに関しては、コスト回避が重要です。ADPを利用することで、リスクを軽減しているという自信を持つことができます。」

企業文化のイニシアティブを支えるデータ

PTCの基盤となる価値観の一つである「PTC for All」は、すべての従業員が成長し活躍できる包括的で多様かつ公平な文化を築くことを目指しています。グローバルトランスフォーメーションの取り組みを通じて、PTCはHCMシステムとADPからのデータを活用し、正確な単一のデータソースを確立することで、「PTC for All」の推進を加速させようとしています。

Shullo氏は加えて次のように述べています。「ADPを活用することで、私たちのHCM戦略を改善することができます。これはまさに財務部門の取り組みですが、システムからより良いレポートを得ることで、グローバル組織の人口動態を理解し、『PTC for All』の価値を支えることが可能になっています。」

従業員の自律性をグローバルに支援

PTCは2021年に米国でセルフサービスを導入し、従業員が自分で銀行口座や税務情報を更新できるようにしました。初年度には約3,700件の変更が行われ、その後も毎年ほぼ同じ数の変更が続いている。Buccieri氏は、従業員のセルフサービスにより、組織の手作業による業務が約半分のフルタイム相当分削減されたと見積もっています。

グローバルな視点から、Buccieriは、より集中化されたポータルへの移行を高く評価しています。

「ADPポータルを使えば、給与システムからGlobal MyView Portalまで、ワンログインで簡単にアクセスでき、給与明細を確認できます。シンプルで便利です。国に関係なく、全員が同じURLでログインします。以前は給与チームが従業員に給与明細を配布していましたが、今では従業員自身がログインしてダウンロードできるようになりました。グローバルチームからは、自分の情報に簡単にアクセスできることへの好意的なフィードバックが続々と寄せられています。」

ADPと共に歩む成功への道筋

これだけ大規模なプロジェクトを成功させるには、チームワークと献身が不可欠です。何が成功の鍵だったのかBuccieri氏に伺ったところ、「全体として、ADPとは非常に良好な関係を築いています。コンプライアンスから現地の専門知識、さらには社内プロセスの最適化に至るまで、彼らが導入に提供してくれたあらゆる洞察を大いに評価しています。彼らは素晴らしいパートナーであり、導入成功の重要な要素でした。」

「ADPは本当に素晴らしいパートナーであり、私たちの導入成功の鍵となりました。最終的に、ADPとPTCは同じ共通の目標を持っています。」

—PTC社、グローバル
給与担当シニア
マネージャー、
Stephanie Buccieri氏

さらに、「最終的には、ADPとPTCは同じ共通の目標を持っています。私たちは従業員に正確かつタイムリーに給与を支払いたいと考えており、その実現を支える素晴らしいパートナーがADPです。ADPとの関係を一言で表すなら、非常に効果的で非常に連携が取れていると言えます。これまで多くのプロジェクトを管理してきましたが、これほど一貫して順調に進んだものはありませんでした。これは、チームがいかにうまく協力して仕事を成し遂げたかの証です」とまとめています。

「Global Solutions at Work Award」受賞について

「Global Solutions at Work Award」は、最先端技術を効果的に活用し、世界規模で効率的なプロセスを実施することで、人材管理におけるリーダーシップを体現する組織を表彰するものです。PTCは、グローバル給与システムの変革を実現した卓越した成果が評価され、2024年の受賞者に選ばれました。

Christenson氏は次のように述べています。「このプロジェクトはPTCにとって真の変革です。開始時点では、世界中で28もの異なる分散システムが給与処理に使われており、時には異なるチームがExcelを活用しながら、限られた時間で対応していました。ADPと初めからパートナーシップを組み、技術、組織の変革、プロセス改善を組み合わせることで、PTC全体の働き方や従業員支援の方法を根本的に変える変革を推進しています。この賞を受賞できたことを誇りに思います。これは私たちのグローバル給与変革の証であり、チームのリーダーシップが評価されたものです。」

Buccieri氏は次のように述べています。「PTCがGlobal Solutions at Work Awardを受賞したことに大変興奮しています。この賞の受賞は、私のチームがグローバル給与変革を実現するために尽力してきた努力の大きな証明です。」

Shullo氏は次のように付け加えています。「私たちのプロジェクトの成功は、チームの優れたリーダーシップとADPのサポートがあつてこそです。効果的に協力し、効率的にコミュニケーションを取り、障害を乗り越え、社内外の専門知識を活用したことで、素晴らしい成果を達成することができました。」